

第3次小城市総合計画基本構想骨子案について

第2次小城市総合計画の構成

市民憲章（平成19年4月1日制定）

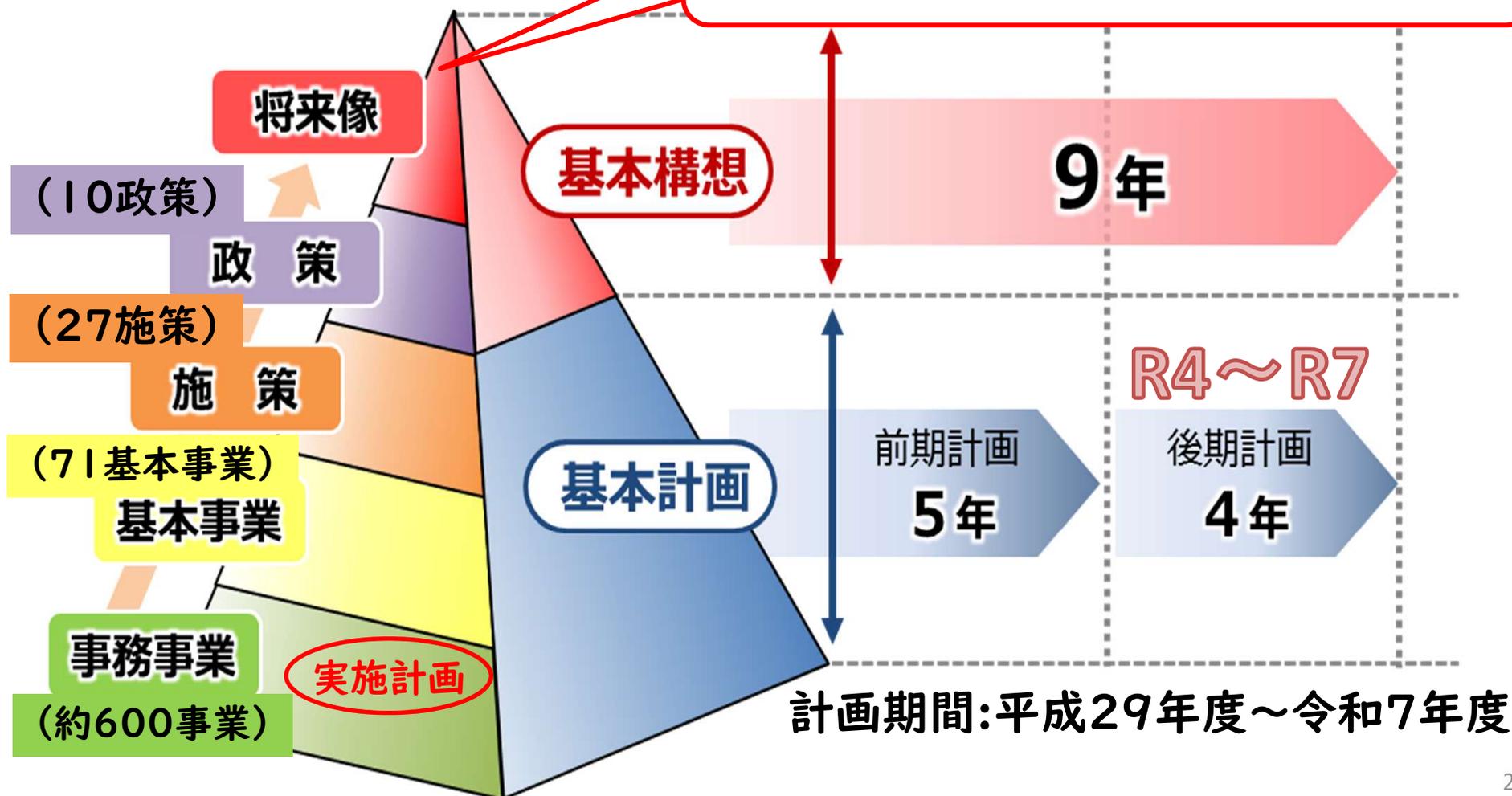
小城市は、秀峰天山と有明の海、田園に恵まれ、伝統、文化、自然と調和のとれた美しいまちです。

私たちは、小城市民であることに誇りと自覚と責任を持ち、平和を願い、未来へ向かって前進するまちを築くため、この憲章を定めます。

- 豊かな自然を大切に、環境にやさしいまちにします。
- 歴史と伝統を受け継ぎ、教養を高め、文化を創造するまちにします。
- 健やかな心と体をつくり、福祉の充実したまちにします。
- 働くことに喜びと誇りを持ち、活力あるまちにします。
- 思いやりの心を持ち、認め合い笑顔が輝くまちにします。

誇郷幸輝

みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市



第2次小城市総合計画の基本構想

誇郷幸輝

～ みんなの笑顔が輝き 幸せを感じる ふるさと小城市 ～



計画書の目次構成（案）

第2次総合計画（H29～R7）

総論

- ・策定の目的
- ・計画の構成と期間
- ・協働によるまちづくり

基本構想

- ・市の概況
- ・将来の人口
- ・まち・ひと・しごと総合戦略の位置づけ
- ・市の特性・資源
- ・市民ニーズの動向
- ・目指す将来像

基本計画

- ・施策、基本事業
- ・計画の推進のための行政経営

資料（策定の経緯、目標値設定の考え方等）

第3次総合計画（R8～R17）

序論

- ・策定の目的
- ・計画の構成と期間
- ・市の概況
- ・社会情勢（DX、GX、デジ田総合戦略等）
- ・市の現状
- ・市民ニーズの動向（アンケート、市民会議）
- ・人口ビジョン
- ・SDGsの視点

基本構想

- ・目指す将来像
- ・政策（将来像を実現するための基本的考え方、方向性）

基本計画

- ・施策（行施策含む）、基本事業

デジタル田園都市構想総合戦略の位置づけ

資料（策定の経緯、目標値設定の考え方等）

目指すまちのすがた（案）

第2次総合計画目指す将来像
 「誇郷幸輝」 ～みんなの笑顔が輝き
 幸せを感じる ふるさと小城市～

まちづくり
 市民会議での意見

市民アンケート
 R5.4月実施
 将来像キーワード

人口推計
 各種統計データ

人と繋がることで幸福度が増す 地元愛
 人と人の繋がりがあがる 全世代が元気
 人が集まるまちは魅力的 小城のことが好きと自慢できる
 小城に対しみんなが自信を持って誇りを持つことができる みんなが元気 共に創る
 人と人、人と企業、すべては繋がることから始まる 子どもから大人まで活力あるまち
 市民ひとりひとりにとって誇れる市⇒自発的な行動に繋がる 資源も含めみんなが主役
 市に愛着を持つと熱心な活動に繋がる
 住みやすい、戻ってきやすいまち 幸福満足度が高いと自然と住むまちに誇りを持てる
 人と人が交わることで、歴史・文化・環境が繋がりがり継承される 応援してもらえるまち

継続性

第3次目指すまちのすがた（案）

- ① 自信を持って小城のことを好きと言える人が多いまち
- ② 地域内外の人と人が繋がり、交わることで、人が集まる好循環のまち
- ③ みんなの笑顔が溢れ、活力があり、主役で活躍できるまち
- ④ 若者の活力を生かし、若者から高齢者まで全世代が元気で暮らせるまち
- ⑤ 豊かな自然環境を大切に、快適で幸せに暮らせる住みやすいまち

目指すまちのすがたの考え方（案1）

（第2次総合計画からの継続性）

- ・「誇郷幸輝」の「誇り」を持つということを引き続き将来像に入れる。

（市民会議での意見）

- ・自分の住むまちのことを自信を持って「好き」と言える人が多いまちは魅力的という意見が多かった。

（第1回市民会議）

こんなまちは外から見て羨ましがられる

- ・小城が好きと自慢している人
- ・自分が住むまちを大好きな人
- ・子供たちが住み続けたいと言う

- ・市民の幸福満足度が高いと、自然と住むまちに誇り・愛着を持てる。
- ・市民一人ひとりにとって誇れる市であれば、自発的な行動や熱心な行動に繋がる。

「誇れる」

小城市民ひとりひとりにとって、誇れる市であれば、「良くいっ!と目に向けて動いた」自信を育むから。大切な市として考えるから。

幸福満足度

・地元住民がまず、「小城市は誇れる土地だ!!」と自然に思える事が重要だと思っ!!

愛着

小城市民であることを誇りに思うようなまちに、愛着を持つと熱心な活動につながる??

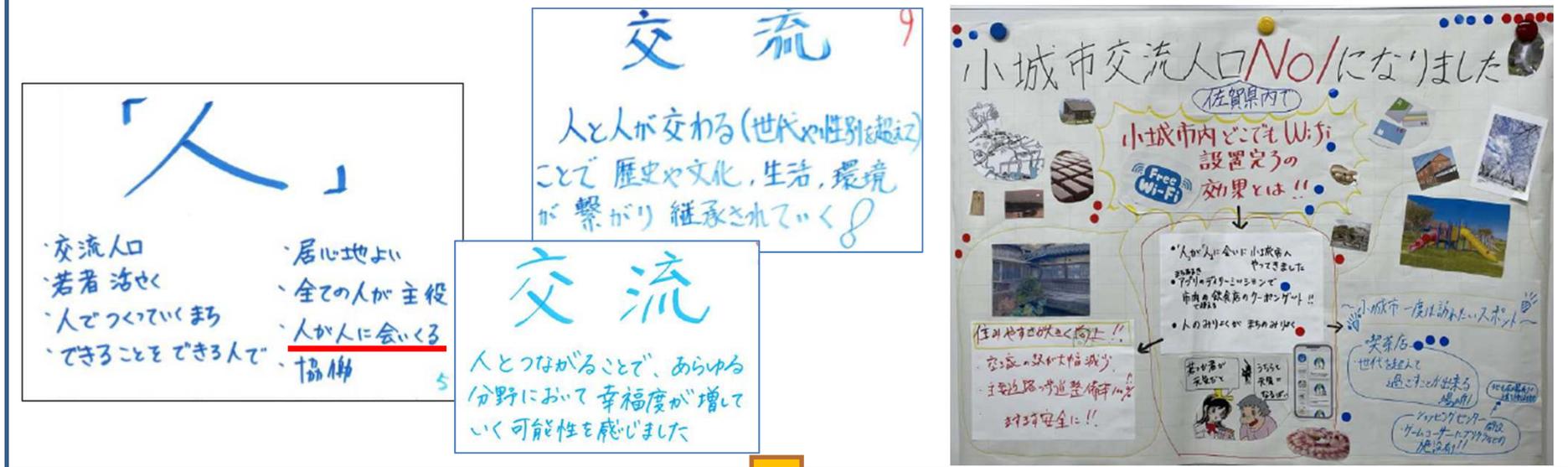
（目指すまちのすがた・状態）

自信を持って小城のことを好きと言える人が多いまち

目指すまちのすがたの考え方（案2）

（市民会議での意見）

- ・小城市は人と人のつながりがあり、そこがよいところという意見が多かった。
- ・人と人が繋がることで幸福度が増す。
- ・人を惹きつける魅力的な人に会いに来ることで、外の人と繋がる（交流）。
- ・繋がるには、小城の歴史・文化等が過去から現在に繋がって今の小城市があり、人と人が繋がる、交わることで、未来へ継承されるという意味も含めている。



（目指すまちのすがた・状態）

地域内外の人と人が繋がりに、交わることで、人が集まる好循環のまち。

目指すまちのすがたの考え方（案3）

（第2次総合計画からの継続性）

- ・「みんなの笑顔が輝き～」

（市民会議での意見）

- ・子どもから大人まで活力あるまち、全世代が元気なまちという意見も多かった。
- ・小城市にある自然・歴史・文化等の資源も含めて「みんな」が主役という意味合いも含んでいる。

主役
みんなが主役
まちづくり!!

（第1回市民会議）
こんなまちは外から見て羨ましがられる

④全世代が元気

- ・高齢者の方が活躍できる
- ・女性が活躍するまち
- ・誰ひとり残さないまち
- ・子供から大人まで活力あるまち
- ・小城に暮らす人の夢が実現できる

「人」

交流人口
若者活やく
人でつくっていくまち
できることとできる人で

居心地よい
全での人が主役
人が人に会いくる
協働

⑩ "みんなが主役"

・山・平地・海に恵まれた
小城市の住民の得意なことを
出い合うことでバージョンアップ
起こせる可能性が大々的

主役

一人一人が小城市の住民で
主役。住みやすい戻ってきてほしい
町になってほしい!!

小城市はみんなが主役なまちに

山エリア
+ 自然が素晴らしい!!

平地エリア
+ 歴史・教育・子育て

海エリア
+ 子ども安心♡

全部あります!!

（第4回市民会議）小城の未来新聞

（目指すまちのすがた・状態）

みんなの笑顔が溢れ、活力があり、主役で活躍できるまち

目指すまちのすがたの考え方（案4）

（市民アンケートの結果）

- ・今後のまちづくりで力を入れるべきこととして、「若者の定住促進のための施策」、次いで「高齢者福祉の充実」が多かった。

（市民会議での意見）

- ・若者がかがやくまち、学生発信の取り組み

『若者がかがやくまち』
・これからの未来を担う若者にスポットをあて、若者主体の町づくり、町おこしに興味をもってもらうことで、若者のニーズにそったまちづくりが出来ることと成る。
・経験になる。

（第1回市民会議）

こんなまちは外から見て羨ましがられる

④全世代が元気

- ・高齢者の方が活躍できる
- ・女性が活躍するまち
- ・誰ひとり残さないまち
- ・子供から大人まで活力あるまち

「若者の定住促進のための施策」、



（第4回市民会議）小城の未来新聞

（目指すまちのすがた・状態）

若者の活力を生かし、若者から高齢者まで全世代が元気で暮らせるまち

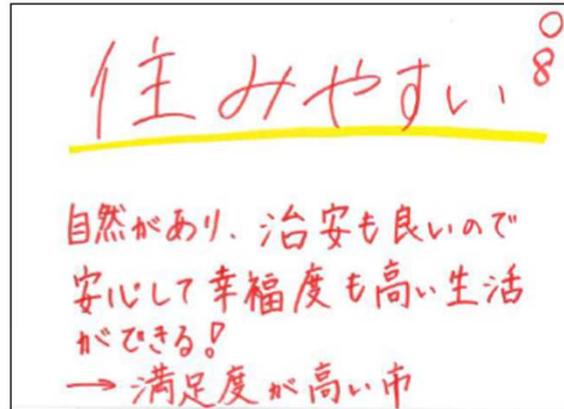
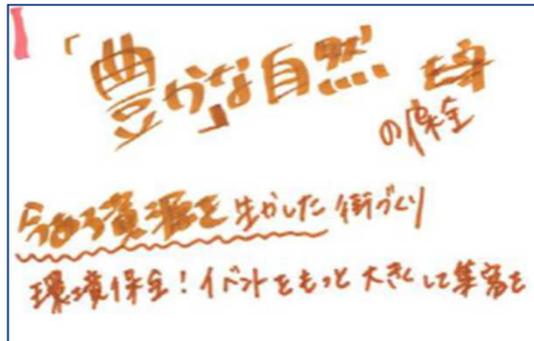
目指すまちのすがたの考え方（案5）

（市民アンケートの結果）

- ・ 将来都市像のキーワードとして、「自然」「快適」の2つのキーワードが多かった。

（市民会議での意見）

- ・ 小城市のいいところとして「自然」のキーワードもよく出てきており、今ある自然環境を大切にしまちづくりという意見も多かった。
- ・ 自然環境や人、治安の良さも含めて住みやすいまち。



（第4回市民会議）小城の未来新聞

（目指すまちのすがた・状態）

豊かな自然環境を大切にし、快適で幸せに暮らせる住みやすいまち

その他の視点

未来のキーワード
『挑戦』

②

<理由・背景>
学校が多く、市のなかには ~~多様な~~
多様な町の特徴がある。
前例のないことにも試みを行い
まだ気付いていない魅力を知る機会がある。

活かす・結果にする ⑧

これまで熱量入ってきた市民会議で
多世代から出た声も活かして
つなげて続けたいけばきっといい結果に
つなげるはず!

勇氣

新しい街を造るには
勇氣を出してチャレンジしていく
必要がある。

変化 → 志願した方も変化し続ける。
小城市

④理由・色々な人の価値感をぶつかることで、
変化し合い、よりよい未来に発展
していくと思う!!

目指すまちのすがた（案）の考え方相関図

第3次目指すまちの すがた（案）	現状把握（人口・ 統計データ）	市民アンケート	市民会議
① 自信を持って小城の ことを好きと言える人が 多いまち	<ul style="list-style-type: none"> ・小城市は昼夜間人口比率が県内で一番低い ・佐賀市への通勤通学者が多い。 ⇒生活圏が佐賀市の人が多く、小城市内で過ごす時間が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着度は過去の結果と比べ高くはなっているが、愛着を感じていない割合が13%いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住むまちのことを「好き」と言える人が多いまちは魅力的。 ・一人ひとりにとって誇れる市であれば、自発的な行動や熱心な行動に繋がる。
② 地域内外の人と人が 繋がり、交わることで、 人が集まる好循環のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が続く。 ⇒人口減少社会において、関係人口、交流人口の力も必要。 ・佐賀市への通勤通学者が8,789人いるが、逆に佐賀市からの通勤通学者が3,486人いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に力を入れることとして、「若者の定住促進のための施策」が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小城市のよさは人と人とのつながり。 ・人と人のつながりにより地域内外の交流が生まれる。 ・小城の歴史・文化等が過去から現在に繋がって今の小城市がある。
③ みんなの笑顔が溢れ、 活力があり、主役で活躍 できるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が続く。 ⇒人口減少社会において、まちの活力を維持し、上げていくことが重要。 ・産業雇用の分野が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着度が年齢別、居住地区別によって少し偏りがある。 ・将来像キーワードの自由記述「みんなで作る」「共に創る」 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来新聞タイトルから「小城市はみんなが主役のまちに」 ・小城市の自然・歴史・文化等の資源も含めみんなが主役という想い。

目指すまちのすがた（案）の考え方相関図

第3次目指すまちの すがた（案）	現状把握（人口・ 統計データ）	市民アンケート	市民会議
<p>④ 若者の活力を生かし、若者から高齢者まで全世代が元気で暮らせるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化 ⇒若者を呼び込み、また、高齢者も元気に暮らせるまちが求められる。 ・ 商店数、製造品出荷額（10市比較で小城市は少ない。） ⇒小城市は産業の分野が弱いため、産業・雇用の創出が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に力を入れることとして、「若者の定住促進のための施策」が多い。 ・ 次いで「高齢者福祉の充実」が多い。 ・ 将来像のキーワードとして3番目に「健康」が多い。 ・ 将来像キーワードの自由記述による「みんなが元気」「どの世代も住みたくなる」「若者の定住」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来新聞タイトルから「若者がかがやくまち」 ・ 若者主体でまちについて考えていくことで、若者のニーズに沿ったまちづくりができる。 ・ 市民会議には、高校生、大学生の参加が多く、若い世代のまちづくりに対する前向きな意見が多かった。
<p>⑤ 豊かな自然環境を大切にし、快適で幸せに暮らせる住みやすいまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小城市は昼夜間人口比率が県内で一番低い。 ・ 佐賀市への通勤通学者が多い。 ⇒住む環境として選ばれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像のキーワードとして「自然」「快適」が多い。 ・ 特に力を入れることとして、「空き家対策」が3番目に多い。 ・ 将来像キーワードの自由記述「美しいまち」「どの世代も住みたくなる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小城市のいいところとして「自然」のキーワードが多く出た。 ・ 小城市の住みやすさとして、「人」「治安の良さ」等が多く挙がった。